大学院 工学研究科　博士後期課程　化学・環境・生命工学専攻　環境工学コース

ディプロマ・ポリシー

研究科DP

（１）専門分野における高度な専門性とそれを活用できる研究能力に基づき、課題発見およびその解決に向けた取り組みを実践できる。

（２）外国語を含めた論理的言語表現能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力により、教育・研究内容を他者に伝え、他者の意見も理解し、リーダーシップを発揮することができる。

専攻DP

(A) 専攻が包含する幅広い技術基盤と複眼的な視野をもった高度専門職業人として、持続可能な発展に関わる課題発見と解決を主導できる。

(B) 高度な専門性とそれを活用できる研究および実験能力に基づき、課題に対する問題設定および解決に向けた取り組みを自立的に実践できる。

(C) 論理的かつ多言語的なコミュニケーションおよびプレゼンテーション能力により、さまざまな情報の受発信を円滑に行うことができ、それをもとにリーダーシップを発揮することができる。

コースDP

（Ⅰ）環境が関わる課題を始めとする幅広い課題を解決するために、種々の現象を他分野からの視点を含めて多面的に観察・分析・総合・評価し、解決策を立てることができる。

（Ⅱ）課題解決に当たっては、常に環境への負荷を判断しながら的確に行動できる。

（Ⅲ）高度な実験技術を身につけ、技術の改良や融合による新技術の創出に貢献することができる。

(Ⅳ) 修得した知識や思考あるいは情報を適切に発信しながらグローバルに活動でき、リーダーシップを発揮できる高度な能力と倫理観を身につけ、課題の解決に意欲的且つ継続的に取り組むことができる。

≪DPを達成するために特に関連度の高い科目に◎≫

分野	授業科目名	単位数	DP１）	DP２）	DP A)	DP B)	DP C)	DP Ⅰ）	DP Ⅱ）	DP Ⅲ)	DP Ⅳ)
専門科目	応用化学特殊研究	12									
	環境工学特殊研究	12	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	生命工学特殊研究	12									